



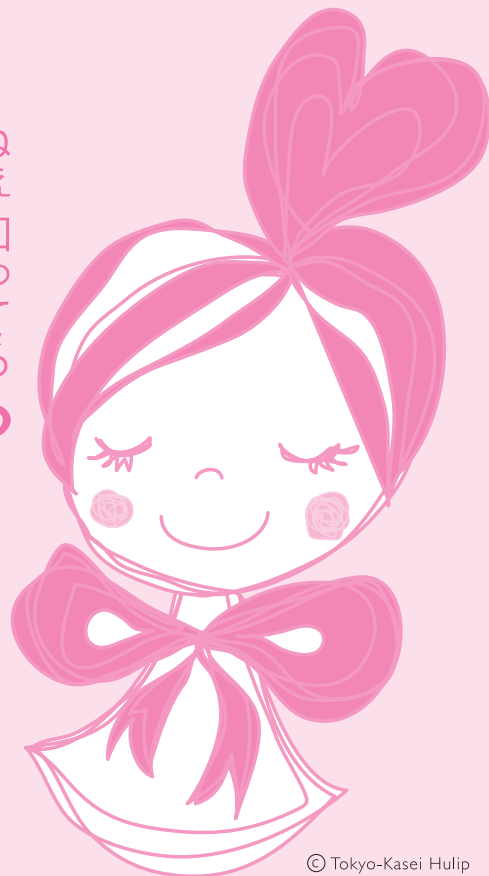
# 東京家政大学は ピンクリボン運動を推進します

ピンクリボンは、アメリカから始まった乳がんの早期発見・早期診断・早期治療を促す啓発運動のシンボルマークです。乳がんは現在女性がかかるがんとして最も多いがんといわれており、ライフスタイルや食生活の変化により日本でも増加傾向にあります。

また、乳がんは“しこり”によって早期発見が可能ながんといわれています。

東京家政大学では、約7,000人の女性が学ぶ大学の使命として、女子大学として初めてピンクリボン運動をスタートさせました。平成21年、当時造形表現学科4年生の学生が、本学に通う学生をイメージしてデザインしたピンクリボンキャラクターが、東京家政大学ピンクリボン運動のシンボルマークです。

ねえ知ってる？  
ピンクリボンのこと



© Tokyo-Kasei Hulip

## 飲料自動販売機売り上げの一部を寄付



啓発活動のピンクリボンカレンダー

東京家政大学オリジナルシンボルマークがラッピングされた飲料自動販売機（学内の9号館：保健センター横、16号館：エレベータ前、学寮1号館：談話室）の売上の一部を、ピンクリボン運動の啓発活動および寄付にあてています。

## 緑苑祭でピンクリボン運動を展開



平成29年度

乳がん月間である10月には、緑苑祭（学園祭）にて、本学のオリジナリティあふれるピンクリボン運動を展開します。平成29年度は、学生有志がカフェを出展し、多くの来場者にピンクリボン運動をPRしました。

## 大学外での活動

地域の医療機関や行政と連携して、学生が考案した女性の健康に役立つレシピの配布などを行っています。



緑苑祭で出展したカフェのレシピ